

ファイザー

公募型医学教育プロジェクト助成

Shared Decision-Making (SDM) / 肺癌

社内審査プロセス



本公募の概略

肺癌領域においては、医療の進歩が日々進んでいます。そのような環境下で、医療従事者と患者が適切なコミュニケーションを実施し、共に意思決定をする Shared Decision-Making (SDM) が益々注目されています。

本プログラムでは、日常診療における SDM の実践を促進することにより、肺癌患者の治療の改善を目的とします。



対象国

日本



対象疾患 / 目的

本公募は、肺癌領域における SDM に関する知識と能力を高める自主的教育の取り組みを支援することを目的としています。SDM の重要性、必要性および実施方法等に焦点を当てた、医療従事者対象とした教育的な取り組みに対して助成を行うプログラムです。

締切日等 スケジュール

- 公募締切日: 2024 年 7 月 2 日
- 審査結果通知: 2024 年 10 月
- 助成金を使用したプロジェクトの開始日: 2025 年 1 月 1 日



助成額 / プロジェクト実行期間

- 助成上限額: 3,000,000 円
- プロジェクト実行期間: 2025 年 1 月 ~ 2026 年 6 月 (1 年半)



I. 応募資格

対象国:

- 日本

申請団体要件:

- 法人格を有した以下の施設・団体に所属し、その所属施設・団体として申請してください。個人として申請することはできません。
 - 大学、大学病院、地域中核病院、その他医療系の教育機関
 - 医療系の学会・研究会等
 - 医療系の財団法人、NPO 法人など(疾患領域に関する活動を行っている法人、患者会、患者支援団体など)
 - 医師会・薬剤師会・歯科医師会
- 他施設／他団体と連携したプロジェクトの場合、すべての施設・団体が意味のある役割を果たし、その中でも申請する施設・団体が最も重要な役割を果たすこととします。
- プロジェクト/プログラムリードは申請を行う施設・団体の従業員や団体会員でなければなりません。
- 応募の際には、各所属施設・団体からの了解を得てください。

II. 公募詳細

公募開始日:

- 2024 年 4 月 24 日

公募対象疾患:

- 肺癌

本公募の目的:

- 本公募は、肺癌領域における SDM の一層の普及を目的としています。SDM の重要性、必要性および実施方法等を中心とした医療従事者対象の教育的な事業に対して助成を行うプログラムです。

非小細胞肺癌の治療は、ドライバー遺伝子変異を標的とする分子標的薬や免疫逃避を標的とした免疫チェックポイント阻害剤の登場により、従来よりも治療奏功期間や生存期間が大幅に延長していることが報告されています¹⁾。一方で、治療が高度化したことや治療の選択肢が増えたことにより、医療従事者と患者間とのコミュニケーションはより複雑化しつつあります。

このような環境下で、医療従事者と患者との更なるコミュニケーションの質の向上、適切な情報提供や意思決定に対する支援が求められています。そこで、SDM に関する知識を充足し、医療従事者の SDM の活用能力の向上を目的とした啓発プログラムを提案します。これは患者中心の医療を実現し、治療に関する意思決定を支援することを目的としています。

- 本公募では、以下の取り組みを網羅的に実施するプログラムの募集を行っています。
 - 肺癌患者と医療従事者とのコミュニケーションの向上と SDM の実践に向けた環境整備に関する取り組み
 - 医療従事者の SDM に関する具体的な行動変容の推進を目的とした講習会、実践研修、臨床での実践に係わる教育的取り組み

注意事項: 臨床試験(介入/非介入)、非臨床試験、疫学研究、レジストリー構築等の研究を含むプロジェクトは本公募の対象外です。また COI の観点より、診療ガイドラインやガイダンス等の作成が含まれるプロジェクトも助成対象外とします。

教育プロジェクトの対象者(受講者):

- 呼吸器内科医、呼吸器外科医、胸部外科医、腫瘍内科医、放射線科医、薬剤師、看護師など
- *ただし、対象者が「患者のみ」の教育プロジェクトは、本公募の対象外です

本公募の助成額:

- プロジェクト1件あたりの助成上限額: 3,000,000 円
- 本公募の助成総額: 3,000,000 円

スケジュール:

- 公募開始日: 2024 年 4 月 24 日
- 公募締切日: 2024 年 7 月 2 日 (アメリカ東部時間)
- 審査結果通知: 2024 年 10 月
- 助成金は教育助成契約締結後に支払われます。
- 助成金を使用したプロジェクトの実行: 2025 年 1 月~2026 年 6 月

申請方法:

- 以下の URL をクリックし、オンラインにて、ファイザー米国本社の申請システムよりお願いします。
<https://www.cybergrants.com/pls/cybergrants/>
- 初めて申請をされる方は、まず“Create your password”をクリックし、アカウント登録を完了してください。
- 申請に際しては、こちらの[申請の手引き](#)をご参照ください。
 - “Are you replying to a Request for Proposal as part of the Competitive Grant Program?” の質問には **必ず Yes** を選択してください。
 - Competitive Grant Program Name の選択では、「2024 ONC JP Shared Decision-Making (SDM) in Lung Cancer IME」を選択してください。
 - Primary Area of Interest の選択では「Oncology - Lung - IME」を選択してください。
- 申請に必要な情報を申請システムに英語で入力し、Page 5 の「プロジェクト申請書様式」を参照の上、プロジェクト申請書 (Letter of Request/Agenda/Project Description) を作成しシステム内にアップロードしてください。
プロジェクト申請書 (Letter Of Request/Agenda/Project Description) のみ日本語での記載が可能です。
- 注意事項:** 申請タイプを間違えて提出がなされた場合、または締め切り後に提出された場合は、その理由如何によらず、受領できないことを予めご了承ください。

お問い合わせ:

- ファイザー株式会社 MEG-J 事務局
meg.japan@pfizer.com

お問い合わせの際、件名に、今回の公募タイトル「Shared Decision-Making (SDM) に関する知識ギャップの解消/肺癌」をご記載ください。

助成契約:

- 助成金が承認された場合、Pfizer International LLC と書面による助成金契約を結ぶ必要があります。契約の主要な条件を表示するには、[こちら](#)をクリックしてください。
- ファイザーはバランスが取れ、合理的であるように、且つファイザー/申請団体両者の目的を推進するために、これらの契約条件を定めました。助成金契約の手続きには多くのリソースが必要となります。そのため、申請を進める前に、所属施設・団体(法務部門を含む)がこれらの条件を順守できることを確認してください。
- 本公募はファイザーによって助成支援されます。採択となりましたら、助成金は米国より送金されます。
- 助成金は申請施設の口座にのみ送金可能です。

審査:

- 本公募により受け付けた助成申請は、ファイザーが最終的な助成金決定を行うために審査します。

その他注意事項:

- ご申請後の連絡(採択結果含む)はメールにて行います。
- レビューに必要な追加情報・資料の提出などを依頼することがありますので、予めご了承ください。
- 助成プロジェクト開始後、半年に1度、進捗を報告頂きます(中間報告)。また、プロジェクト終了後、最終報告を提出していただきます。
- 助成契約締結後、止むを得ない事情により、申請内容(プラン、スケジュール、助成金使途、プロジェクトメンバーなど)に変更が生じた場合は、必ずご連絡ください。

リファレンス

- 1) Takano N, et al. 2019. "Improvement in the survival of patients with stage IV non-small-cell lung cancer: Experience in a single institutional 1995-2017." *Lung Cancer*, 131:69-77.

ファイザー Global Medical Grants について

ファイザー Global Medical Grants (GMG) は、医療関連団体自らが立案・実行するプロジェクト(ファイザーが注力する疾患領域における、患者さんのアウトカムを改善・向上させるための研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト)を支援します。

ファイザー GMG の公募型医学教育プロジェクト助成では、公募要項(RFP)を弊社 Web サイトに公開しています。公募要項には、公募の目的・締切日等のスケジュール・最終的な助成決定がファイザー社内で行われる点などの詳細が記載されています。申請団体は、各 RFP に記載されている“ナレッジギャップ”を埋めることができるような教育プロジェクトの立案をしてください。

教育プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。

プロジェクト申請書様式

表紙にはプロジェクトタイトル、作成日及びバージョンを記載してください。本申請書は、日本語での記載が可能です。

プロジェクトの背景・目的

- プロジェクトの背景・目的を簡単に記載してください。
- 学習および期待される成果の観点から、プロジェクトで達成する予定の目的を列挙してください。

プロジェクトのニーズ評価

- プロジェクトを実行する必要性を、現在の状況(プロジェクト対象者のレベルなど)をふまえ、記載してください。(定量的データがあれば望ましい)

プロジェクト対象者(受講者)

- プロジェクトの主な対象者(受講者)を記載してください。
- 対象者の数を記載してください。

プロジェクトプラン・スケジュール

- プロジェクトの具体的な実施方法や、マイルストーンをどのように設定しているのか記載してください。
- プロジェクトの詳細なスケジュールを記載してください。(表形式が望ましい)

プロジェクトの評価・結果の測定

- ナレッジギャップが解消されたかどうか、プロジェクトの評価を測定する指標を用い、どのように判定するのか、以下の項目を含め、記載してください。
 - 判定に使用するデータソース
 - データの収集・分析方法
 - 評価結果とプロジェクトとの因果関係を判断する方法
- プロジェクトの予想成果を“対象者”の観点から定量化してください。(例: ベースラインから 10%上昇する)

プロジェクトの画期性

- 応募プロジェクトの画期性について、他のプロジェクトや応募プロジェクトに先駆けて実施した(もしくは進行中の)プロジェクトがあれば、それらと比較して記載してください。

プロジェクト終了後の展開

- プロジェクト終了後、成果・結果をどのように展開していくか、どのように教育を継続させていくことを考えているか記載してください。

その他、プロジェクトに関する追加情報

- その他、上記以外の情報があれば、記載してください。

次頁へ続く

申請団体・プロジェクトメンバー

- 申請団体についての詳細を記載してください。
- プロジェクトメンバーを記載してください。
- 応募プロジェクトでパートナーとなる団体(施設)がある場合は、その団体(施設)名称を記載し、その団体(施設)の役割を明確にしてください。

予算明細

- プロジェクト実行に必要な費用のみ計上可能です。費用の明細を記載ください。(表形式が望ましい)
ただし、弊社からの助成金は以下費目には使用できません。
 - 医薬品の購入
 - プロジェクト終了後に申請団体の資産となりえるもの(パソコン、ソフトウェア、カメラ、医療機器など)テキスト・教科書の購入
- 施設へのオーバーヘッド(間接費用)は、プロジェクト費用の28%を上限に計上することができます。ただし、間接費用を計上される場合でも、本公募で定めたプロジェクト1件あたりの上限額を超えることはできません。
- 消費税込みで記載してください。